

クリスマスに おすすめ の作品!

みなさんはアドベントの期間をどのように過ごしますか?
各部の方々に、この時期におすすめの作品を紹介していただきました。

DVD

高等部教諭
中久木 眞治



『クリスマス街道 欧州3
国・映像と音楽の旅』
製作:シンフォレスト

クリスマス、という出来事をあまり世俗的にとらえてはいけない……とは思うが、この「愛する人と過ごす日」「ケーキを食べる日」「サンタさんが来る日」としての認識ばかりの日本で（それでも祝わないよりましかもしれないが）、圧倒的かつディープに、本来のクリスマスの雰囲気に浸りたい方に超絶お勧めのDVDである。

内容は、ヨーロッパの教会や、イルミネーションに彩られた夜のクリスマスマーケットの紹介であるが、それらは概ねキリスト教の（プロテスタントの）伝統が最も現代でも大切にされている、ドイツ、オーストリア、それにドイツ的な文化も共存させてきたフランス・アルザス地方のキリスト教のイベント紹介の数々である。

映像だけでも十分クリスマスの雰囲気に浸れるが、それに勝るとも劣らないのがBGM（と呼ぶにはあまりに本格的な背景音乐）である。例えばオーストラリアのオーベルンドルフにおいては、「G線上のアリア」というバッハの有名曲のほかに、この地方で生まれたグルーバー作曲の「きよしこの夜」誕生秘話が語られる……といったセンスの良さを見せている。

全部で9か所のクリスマスがその地域で最も著名な教会堂も含め収められているが、おすすめは「世界最大のアドヴェント・カレンダー」という題の付いたドイツ・ゲンゲンバッハのクリスマスである。

同様のものが何種類が発売されており、どれもお勧めで素晴らしいが、映像も音楽も最も正統的なヨーロッパのドイツ風クリスマスを鑑賞したいのであれば、まずはこの一枚をご覧いただければ幸いである。

書籍

総合文化政策学部2年

寺岡優季



『光を仰いで クリスマスを待ち望む25のメッセージ』
朝岡勝／いのちのことば社

「クリスマスは、神の愛のこの上ない現れです。」

現代を生きる私たちには苦しい試練の時が多くあります。コロナによって思い描いていた未来が叶わなくなったり、なかなか答えの出ない問題に苦しみすべてを投げ出したくなったりする時があります。しかし、クリスマスに友達や家族とプレゼントを交換したりするように、私は神様から愛という希望をプレゼントされていたということに、この本を読んで立ち返ることができました。

私の目に見えるものは変わったとしても、神様の愛は変わりません。だから神様がくださった愛を信じて生きていく道を選ぶのだと強く思いました。

クリスマスとはそもそも何なのか、神様が私たちに与えてくださった希望とは何なのか。みなさんにも、朝岡先生が語る25のメッセージから受け取っていたきたいです。

クリスマス絵本の多くは心に沁み入る静かなものだと思いますが、この絵本は、降誕の場面を珍しくユーモラスに描きながら、最後にクリスマスの意味がじわりと伝わってくるような内容になっています。

主人公は宿屋の主人です。可愛らしいイラストで描かれたさまざまな登場人物が、宿屋の主人を通して、それぞれに降誕の場面を表現していきます。クリスマスの夜、イエスさまがお生まれになる場面もシンプルに喜びが伝わってきます。読み手のわたしたちも、クリスマスの喜びを多くの人に伝えたいような気持ちになるのです。降誕物語をご存じの方には、クスツと笑いながらホッと心に残る1冊になるのではないのでしょうか。

コロナウイルスや戦争による不安や悲しみが世界中に広がっている時だからこそ、神様が人となって来てくださったクリスマスを心から待ち望みたいと思います。

絵本

幼稚園教諭

西脇京子



『せいなるよるはおおさわぎ』
ニコラス・アラン／ドン・ボスコ社

CD

コミュニティ
人間科学部准教授
輪島達郎



『クリスマス協奏曲集』
演奏:カペラ・ガベッタ

神がひとり子の誕生を告げるために選んだのは、貧しい野宿者である羊飼いたちだった。彼らこそが、歴史上はじめてクリスマス祝ったのである。

17世紀、草創期の近代音楽の中心イタリアではクリスマス音楽も盛んに作られたが、そこにつきものだったのが「パストラーレ」（牧歌）で、羊飼いたちがバグパイプと葦笛で奏でた文字通り牧歌的で平和な音楽である。「羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて天使の話したとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った」（ルカによる福音書 2章20節）とあるように、彼らは喜びの牧歌を奏でながら帰ったことであろう。「パストラーレ」には羊飼いたちの素朴な喜びと、救い主の誕生を祝い、神の平安を願う祈りが込められている。

このCDには、有名なコレッリの「クリスマス協奏曲」をはじめ、「パストラーレ」を含むイタリアン・バロックの名曲が収められている。古楽アンサンブルのカペラ・ガベッタの演奏は古楽の常識を覆すダイナミックなものだ。

ある冬晴れの朝、淹れたての珈琲の香りが漂う暖かいリビングから、クリスマスソングを弾くピアノの音色が聞こえてきた。鍵盤の前に座る母の横顔は幸せそうで、こちらもなんだか心弾む気分になったのを覚えている。

このクリスマスソングブックは、私が生まれる前から家にあったそうだ。母に、「なぜこの本を選んだの？」と尋ねたら、「家族みんなで歌いたかったから」とのことだった。プレゼントの包装紙を彷彿とさせる、赤い表紙が印象的なこのソングブックの特徴は、楽譜に加えて、日本語と英語の歌詞が収録されていることだ。思わず顔がほころんでしまうような、パステルカラーの優しい挿絵もクリスマスを伝えてくれる。家族とのクリスマスの思い出を紡いでくれたソングブック。一人でも多くの人に喜びの歌が届きますように。

書籍

経営学部
マーケティング学科2年
浮田 貴久乃



『クリスマスソングブック』
児島なおみ／リポート

書籍

初等部教諭

田中和美



『小学生のための 聖書がまるごとわかる本』

すずき たかひろ 文／たさき ゆきこ 絵／いのちのことば社

クリスマスが近づくと、主の降誕を覚えて、聖書にもっと向き合いたいという気持ちが湧いてくる人もいるのではないのでしょうか。私もそのひとりで、与えられた主題聖句を受け止めるだけではなく、聖書の通読に挑戦したいという気持ちになります。そんな気持ちに添えてくれるのが、『小学生のための聖書がまるごとわかる本』です。

この本は、旧約聖書が低学年向けに、新約聖書の福音書が中学年向けに、使徒書が高学年向けに書かれていますが、総ルビでイラスト付きなので、どの学年でも読むことができます。また、用語や背景を学ぶことができ、お話の意味を深く理解することができます。完読すると、出来事のつながりを感じながら聖書に親しむことができるのもこの本の魅力です。小学生だけではなくおとなにも手にとることをおすすめしたい1冊です。

Every year during the Christmas season, I have my own personal tradition of reading *A Christmas Carol* by Charles Dickens. It is a story about an old man named Ebenezer Scrooge, who is selfish and unfriendly. After being visited by several ghosts who allow him to examine his past, present, and future, he begins to change his outlook on life and on Christmas.

Even though the story was published in 1843, its message is still relevant to the present day. Like Scrooge, we lose sight of, or maybe even turn our backs to the important things, like kindness, generosity, and hope. We forget about the true meaning of Christmas: rejoicing in the birth of our savior, Jesus Christ by having an open and giving heart, just as he did. Reading the story each year reminds me to focus on what the holiday is truly about and the importance of healing and renewed strength during the Christmas season.

I hope you will take the time to check out this book and like Scrooge promises, to “honor Christmas” in your heart and “try to keep it all the year” by living in the past, present, and future.

小説

中等部教諭

Gabrielle Gutierrez



A Christmas Carol
by Charles Dickens